

専門学校 共生館国際福祉医療カレッジ
情報提供等への取り組みに関するガイドラインの項目と対応

1. 学校の概要、目標および計画

<学校の教育理念および目標、特色>

専門学校共生館国際福祉医療カレッジは、学校法人久留米ゼミナールを構成する学校として、社会福祉士及び精神保健福祉士受験資格取得の為の指定科目の履修、また、社会福祉士、医療・調剤事務を行える人材を養成することを目的としています。

・一人ひとりのレベルアップの為の少人数制講義

少人数制にこだわり一人ひとりの学力・理解度を把握しているため、個別指導に力を入れることができます。授業中に分からないことがあっても気軽に質問、先生とコミュニケーションがいつでもとれ、アットホームな授業で問題もすぐに解消できます。

・多彩な資格取得

社会福祉学科では、福祉の国家資格である『社会福祉士』をはじめ『精神保健福祉士』の受験資格や「保育士」「幼稚園教諭」の資格を取得することができます。そして医療ビジネス科では、病院や調剤薬局で必要な資格を数多く取得できます。

・万全の資格受験対策

難関資格の取得には、必ず試験対策が必要になります。共生館では、社会福祉士合格のために、社会福祉専攻科や社会福祉士国家試験対策フォローアップ講座を徹底し、ビジネス資格に対しては、講義内での検定試験対策を集中して行います。だからこそ高い合格率を誇ることができます。

・社会に通用する自立した社会人養成

社会では、ルールやマナーが要求されます。社会人として、常に相手の立場に立つてものごとを考え、どう行動したら良いのか判断できる力を養います。社会人にふさわしい社会的な行動様式は、日常的な取り組みによって、はじめて身につきます。挨拶を励行し、清掃活動の実施、服装・身なりの指導、時間や提出期限の厳守をするなど、日頃から意識的に望ましい行動様式を実践し、身につけます。

・地域貢献・開かれた学校を目指す

共生館では専門知識や資格取得を身につけるだけでなく、学校全体で取り組むくめクリーンアップ清掃活動を始め、レクリエーション大会など、学校行事も満載です。ボランティアも学校全体で取り組み、地域に密着した学校作りを目指しています。

<学校名、校長名、所在地>

学校名 専門学校共生館国際福祉医療カレッジ

校長 鮫島 重喜

所在地 福岡県久留米市天神町3-82-2

連絡先 TEL 0942-38-0200

FAX 0942-37-2878

<学校の沿革>

- 1998年 4月 学校法人久留米ゼミナール 専修学校 共生館福祉医療専門学校 開校
- 2004年 4月 東京福祉大学社会福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻（通信教育課程）と提携を結ぶ
- 2005年 4月 専修学校 共生館福祉医療専門学校が近畿大学九州短期大学通信教育部保育科と提携を結ぶ。
- 2007年 3月 専修学校 共生館福祉医療専門学校が社会福祉士一般養成施設 社会福祉士通信学科の認可を受ける
- 2009年 4月 専修学校 共生館福祉医療専門学校より専修学校 専門学校 共生館国際福祉医療カレッジに校名変更
- 2011年 4月 専修学校 共生館国際福祉医療カレッジが星槎大学共生科学部共生科学科通信教育課程と提携を結ぶ
- 2012年 3月 専修学校 専門学校共生館国際福祉医療カレッジが精神保健福祉士短期養成施設 精神保健福祉士通信学科の認可を受ける
- 2015年 2月 専修学校 専門学校共生館国際福祉医療カレッジ **社会福祉学科・医療ビジネス科**が文部科学省「職業実践専門課程」として認定を受ける。

2. 学科の教育

<収容定員>

【社会福祉学科	3年制】	1学年	40名	収容定員	120名
【医療ビジネス科	2年制】	1学年	40名	収容定員	80名

<カリキュラム>

【社会福祉学科】

1年次

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	週授業時間数
社会福祉原論	必修	60	2
老人福祉論	必修	60	2
障害者福祉論	必修	60	2
児童福祉論	必修	30	2
心理学	必修	30	2
医学一般	必修	30	2
保健体育・レクリエーション	必修	60	2
社会福祉援助技術論Ⅰ	必修	60	2
社会福祉援助技術演習Ⅰ	必修	90	2
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	必修	100	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	必修	60	2
介護概論	必修	60	2
福祉研究Ⅰ	選択	60	2
福祉研究Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅰ	選択	60	2
福祉技術Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅲ	選択	60	2
福祉技術Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅴ	選択	30	2
福祉技術Ⅵ	選択	30	2
福祉技術Ⅶ	選択	60	2
合計		820	

2年次

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	週授業時間数
家庭福祉論	必修	30	2
法学	必修	30	2
社会学	必修	30	2
社会福祉行政論	必修	30	2
公的扶助論	必修	30	2
地域福祉論	必修	60	2
福祉事務所運営論	必修	30	2
社会保障論	必修	60	2
社会福祉援助技術論Ⅱ	必修	60	2
社会福祉援助技術演習Ⅱ	必修	60	2
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	必修	80	
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	必修	30	2
介護技術	必修	60	2
社会福祉演習1	必修	30	2
コンピュータ実務Ⅱ	必修	60	2
福祉研究Ⅲ	選択	60	2
福祉研究Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅰ	選択	60	2
福祉技術Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅲ	選択	60	2
福祉技術Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅴ	選択	30	2
福祉技術Ⅵ	選択	30	2
福祉技術Ⅶ	選択	60	2
合計		800	

3年次

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	週授業時間数
経済学	必修	30	2
社会福祉施設経営論	必修	60	2
社会福祉援助技術論Ⅲ	必修	60	2
保健医療サービス	必修	30	2
社会調査の基礎	必修	30	2
就労支援サービス	必修	30	2
更生保護制度	必修	30	2
社会福祉演習2	必修	60	2
社会福祉演習3	必修	60	2
社会福祉演習4	必修	60	2
社会福祉演習5	必修	60	2
社会福祉演習6	必修	60	2
社会福祉演習7	必修	60	2
社会福祉演習8	必修	30	2
社会福祉演習9	必修	30	2
福祉研究Ⅴ	選択	60	2
福祉研究Ⅵ	選択	60	2
福祉技術Ⅰ	選択	60	2
福祉技術Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅲ	選択	60	2
福祉技術Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅴ	選択	30	2
福祉技術Ⅵ	選択	30	2
福祉技術Ⅶ	選択	60	2
合計		810	
総授業時間数		2,430	

【医療ビジネス科】

1 年次

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	週授業時間数
医療事務Ⅰ	必修	60	2
医療事務Ⅱ	必修	60	2
医療事務Ⅲ	必修	60	2
医療事務Ⅳ	必修	60	2
解剖生理学Ⅰ	必修	60	2
医療関連法規・保険制度概論	必修	60	2
病院管理論	必修	30	2
医事コンピュータⅠ	必修	60	2
秘書概論・文書表現Ⅰ	必修	60	2
秘書概論・文書表現Ⅱ	必修	60	2
接遇演習Ⅰ	必修	30	2
調剤事務	必修	30	2
情報処理Ⅰ	必修	60	2
検定試験対策Ⅰ	必修	60	2
検定試験対策Ⅱ	必修	30	2
病院・調剤実習指導Ⅰ	必修	30	2
病院・調剤実習Ⅰ	必修	90	
福祉技術Ⅰ	選択	60	2
福祉技術Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅲ	選択	60	2
福祉技術Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅴ	選択	30	2
福祉技術Ⅵ	選択	30	2
福祉技術Ⅶ	選択	60	2
合計		900	

2 年次

授業科目	必・選の別	年間授業時間数	週授業時間数
医療事務Ⅴ	必修	60	2
医療事務Ⅵ	必修	60	2
医療事務Ⅶ	必修	30	2
医療事務Ⅷ	必修	30	2
医療事務Ⅸ	必修	30	2
医事コンピュータⅡ	必修	60	2
情報処理Ⅱ	必修	30	2
秘書概論・文書表現Ⅲ	必修	60	2
接遇演習Ⅱ	必修	30	2
社会福祉基礎	必修	30	2
医療英語	必修	30	2
書写Ⅱ(ペン字)	必修	60	2
解剖生理学Ⅱ	必修	30	2
検定試験対策Ⅲ	必修	60	2
検定試験対策Ⅳ	必修	30	2
介護保険請求事務	必修	30	2
病院・調剤実習指導Ⅱ	必修	60	2
病院・調剤実習Ⅱ	必修	90	
医療事務Ⅹ	選択	30	2
福祉技術Ⅰ	選択	60	2
福祉技術Ⅱ	選択	60	2
福祉技術Ⅲ	選択	60	2
福祉技術Ⅳ	選択	60	2
福祉技術Ⅴ	選択	30	2
福祉技術Ⅵ	選択	30	2
福祉技術Ⅶ	選択	60	2
合計		810	
総授業時間数		1710	

(年間計画)

前期 4月～9月

【社会福祉学科 2年生 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ 7月～8月】

【医療ビジネス科 2年生 病院・調剤実習Ⅱ 8月】

後期 10月～3月

【社会福祉学科 1年生 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ 2月～3月】

【医療ビジネス科 1年生 病院・調剤実習Ⅰ 2月～3月】

(進級・卒業の要件および評価基準)

評価基準：前期・後期試験、実習の成果等を総合的に勘案して優、良、可、不可の成績評価を行い、可以上を合格とする

卒業・進級基準：所定の修行年限在学し、所定の時間数以上を修得した者

3. 教職員

<教職員数>

- ・校長 1名
- ・常勤教員 9名
- 事務職員 2名
- 非常勤教員 23名

4. キャリア教育・実践的職業教育

<実習への取り組み> 2016年度～2017年度

【社会福祉専門課程 社会福祉学科】

授業科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	授業時数又は 単位数	100時間
実施期間	平成29年1月～平成29年3月にかけて、1日8時間の13日間以上の合計100時間		
実習・演習等の目的及び概要	相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の習得を行っていく。 また、実践を通しての学びの場である実習期間を有効に活用し、効果的な実習ができるよう、専門職のあり方と自己覚知を目指す。		
企業等との連携の基本方針	本校で学んだ学習内容の実践として、現場実習を配置していることから、学校と福祉現場の相互の基本理解の基に現場実習が可能な施設を選定している。		
企業等との連携内容	実習指導体制としては、 ① 学内における実習指導・・・本校社会福祉学科担当教員が指導を行う。 ② 配属先における実習指導・・・承諾いただいた施設・機関の指導担当者から指導を行う。 ③ 巡回訪問指導・・・学生の実習期間中に2回以上の巡回訪問指導を行いそこで巡回指導を行い、学習フォローを行う。 ④ 評価・・・本校担当指導員、実習先担当指導員、自己評価を総合的に		

	<p>勘案して評価を行う。</p> <p>⑤ その他・・・実習期間中においては随時配属先の担当者より指導を入れていただくが、必要な場面においてスーパービジョンの実施を行っていく。</p>	
学修成果の評価方法	<p>評価の方法としては、①担当指導教員からの評価 ②実習先指導担当者からの評価 ③自己評価 以上の3つの内容から総合的に勘案して、4段階で最終的な評価を行う。</p> <p>また、実習先からは実習中における評価を評価票として提出をしてもらい評価を行ってもらう。</p>	
実習・演習等計画		
日程	実習・演習等の内容	実施場所
1日目	オリエンテーション	当該施設・機関
2～4日目	職場実習・見学実習	当該施設・機関
5日目	中間の振り返り	当該施設・機関
6～8日目	職種実習	当該施設・機関
9～12日目	ソーシャルワーク実習	当該施設・機関
13日目	振り返り・学習のまとめ	当該施設・機関
連携する企業等	<p>有限会社エスピーライフ デイサービスセンターあいあい、特別養護老人ホーム玖珠園、社会福祉法人学正会 特別養護老人ホームよのもと、社会福祉法人多聞福祉会 特別養護老人ホーム彌栄苑、社会福祉法人拓く 出合いの場ポレポレ 他 総数 15 施設</p>	

授業科目名	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	授業時数又は 単位数	80 時間
実施期間	平成 29 年 7 月～平成 29 年 8 月にかけて、1 日 8 時間で 10 日間以上の合計 80 時間		
実習・演習等の目的及び概要	<p>相談援助実習の実践を社会福祉施設等の現場で行い、実践的な技術・知識の修得を行っていく。</p> <p>また、実践を通しての学びの場である実習期間を有効に活用し、効果的な実習ができるよう、専門職のあり方と自己覚知を目指す。</p>		
企業等との連携の基本方針	<p>本校で学んだ学習内容の実践として、現場実習を配置していることから、学校と福祉現場の相互の基本理解の基に現場実習が可能な施設を選定している。</p>		

企業等との連携内容	実習指導体制としては、 ① 学内における実習指導・・・学内における実習指導については、本校社会福祉学科担当教員が指導を行う。 ② 配属先における実習指導・・・配属先における指導は、承諾いただいた施設・機関の指導担当者から指導を行う。 ③ 巡回訪問指導・・・学生の実習期間中に2回以上の巡回訪問指導を行いそこで巡回指導を行い、学習フォローを行う。 ④ 評価・・・本校担当指導員、実習先担当指導員、自己評価を総合的に勘案して評価を行う。 ⑤ その他・・・実習期間中においては随時配属先の担当者より指導を入れていただくが、必要な場面においてスーパービジョンの実施を行っていく。		
学修成果の評価方法	評価の方法としては、①担当指導教員からの評価 ②実習先指導担当者からの評価 ③自己評価 以上の3つの内容から総合的に勘案して、4段階で最終的な評価を行います。 また、実習先からは実習中における評価を評価票として提出をしてもらい評価を行ってまいります。		
実習・演習等計画			
日程	実習・演習等の内容	実施場所	
1日目	オリエンテーション	当該施設・機関	
2～4日目	職場実習・見学実習	当該施設・機関	
5日目	中間の振り返り	当該施設・機関	
6～7日目	職種実習	当該施設・機関	
8～9日目	ソーシャルワーク実習	当該施設・機関	
10日目	振り返り・学習のまとめ	当該施設・機関	
連携する企業等	有限会社エスピーライフ デイサービスセンターあいあい、特別養護老人ホーム玖珠園、社会福祉法人学正会 特別養護老人ホームよのもと、社会福祉法人多聞福祉会 特別養護老人ホーム彌栄苑、社会福祉法人拓く 出合いの場ポレポレ 他 総数 15 施設		

【商業実務専門課程 医療ビジネス学科】

授業科目名	病院・調剤実習 I	授業時数又は 単位数	90 時間
実施期間	平成 29 年 2 月～3 月にかけて、1 日 8 時間の 12 日間以上の合計 90 時間		
実習・演習等の目的及	接遇技術と、患者からの質問に的確に答えられることが出来る専門知識、正確で迅速な事務処理能力を、将来医療機関での仕事に従事する者として、		

び概要	備えておくことが大切であると考え、現場の場面に触れることで応用力や自分に不足している知識や技能を知ることを目的とする。	
企業等との連携の基本方針	接遇技術や医療事務関連の専門知識、事務処理能力を実践的に学ばせる事が可能である等、実習の目的を達成できる医療機関、調剤薬局を選定している。	
企業等との連携内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.学内における実習指導は、本学医療ビジネス科実習指導担当職員が行う。 2.配属先における実習指導は、連携する病院・診療所・保険調剤薬局の指導担当者が行う。 3.担当指導教員と実習先指導担当者は協働で実習指導にあたり、実習期間中の巡回訪問により、学内の教員は実習指導に関して実習先指導担当者と緊密な連絡と協力を頂けるように努める。 4.実習終了後、評価表を使用し4段階で評価する。 	
学修成果の評価方法	<p>実習終了後、「実習評価表」を使って A/B/C/D の4段階で評価。</p> <p>総合評価とは別に、挨拶や勤怠状況、身だしなみ等を評価する「基本的態度」の項目、実習でのコミュニケーション力等を評価する「実習態度」の項目、問題意識の有無を評価する「学習意欲」の項目がそれぞれ評価される。</p> <p><評価の内訳> A:よく出来た B:普通 C:努力を必要とする D:検討を要す</p>	
実習・演習等計画		
日程	実習・演習等の内容	実施場所
1日目 ～12日目	<p>施設概要とサービス提供方針を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内見学 ・実習先医療機関の方針の説明を受ける ・施設基準によって算定できる項目の説明を受ける <p>医療事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付・患者さまの案内・カルテの準備、収納・医事コンへの入力 ・会計・電話応対（入院受付、ネーム作成などの病棟業務） ・レセプトチェック・請求業務・自費、労災、自賠責のカルテ管理・医療秘書 <p>職員としての仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除 ・片づけ 	当該医療機関
連携する企業等	医療法人 音成クリニック、医療法人 吉田胃腸内科医院、医療法人 かつき会 香月病院、ファミリー薬局久留米店、医療法人 長井小児科、一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 他 総数 14 施設	

授業科目名	病院・調剤実習Ⅱ	授業時数又は 単位数	90 時間
-------	----------	---------------	-------

実施期間	平成 29 年 8 月～平成 29 年 9 月にかけて、1 日 8 時間の 12 日間以上の合計 90 時間	
実習・演習等の目的及び概要	接遇技術と、患者からの質問に的確に答えられることが出来る専門知識、正確で迅速な事務処理能力を、将来医療機関での仕事に従事する者として、実践することで自らの力量を上げることを目的とする。	
企業等との連携の基本方針	接遇技術や医療事務関連の専門知識、事務処理能力を実践的に学ばせる事が可能である等、実習の目的を達成できる医療機関、調剤薬局を選定している。	
企業等との連携内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.学内における実習指導は、本学医療ビジネス科実習指導担当職員が行う。 2.配属先における実習指導は、連携する病院・診療所・保険調剤薬局の指導担当者が行う。 3.担当指導教員と実習先指導担当者は協働で実習指導にあたり、実習期間中の巡回訪問により、学内の教員は実習指導に関して実習先指導担当者と緊密な連絡と協力を頂けるように努める。 4.実習終了後、評価表を使用し 4 段階で評価する。 	
学修成果の評価方法	<p>実習終了後、「実習評価表」を使って A/B/C/D の 4 段階で評価。</p> <p>総合評価とは別に、挨拶や勤怠状況、身だしなみ等を評価する「基本的態度」の項目、実習でのコミュニケーション力等を評価する「実習態度」の項目、問題意識の有無を評価する「学習意欲」の項目がそれぞれ評価される。</p> <p><評価の内訳> A：よく出来た B：普通 C：努力を必要とする D：検討を要す</p>	
実習・演習等計画		
日程	実習・演習等の内容	実施場所
1 日目 ～12 日目	<p>施設概要とサービス提供方針を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内見学 ・実習先医療機関の方針の説明を受ける ・施設基準によって算定できる項目の説明を受ける <p>医療事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付・患者さまの案内・カルテの準備、収納・医事コンへの入力 ・会計・電話対応（入院受付、ネーム作成などの病棟業務） ・レセプトチェック・請求業務・自費、労災、自賠責のカルテ管理・医療秘書 <p>職員としての仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除 ・片づけ 	当該医療機関
連携する企業等	医療法人 音成クリニック、医療法人 吉田胃腸内科医院、医療法人 かつき会 香月病院、ファミリー薬局久留米店、医療法人 長井小児科、一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 他 総数 14 施設	

<就労支援への取り組み>

・就職担当

就職年次になると一人ひとりに就職担当の先生がつくことになります。不安な履歴書作成から面接の練習や就職試験対策まで個別指導します。また、就職担当が熱意をしっかりとアピールするために、就職希望先へ同行し、内定まで万全にサポートします。

5. 様々な教育活動・教育環境

<学校行事>

4月	入学式 前期オリエンテーション
5月	春季レクリエーション大会 就職講話会
6月	就職三者面談
7月～8月	社会福祉援助技術現場実習Ⅱ 病院・調剤実習Ⅱ
10月	研修バス旅行
12月	くるめクリーンアップ活動 学校年末大掃除
2月～3月	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ 病院・調剤実習Ⅰ
3月	卒業式

6. 学生の生活支援

<学生への支援状況>

各クラスにチューター(担任)がいることで、学習指導や生活面の悩みも気軽に相談でき、大学や短大には無いきめの細かい個別対応ができます。共生館はチューターと学生との信頼関係を一番に考え、共に歩んでいくことで本人の長所を伸ばしていきます。

7. 学生納付金・修学支援

<学費について>

年次	社会福祉学科（授業料）	医療ビジネス科（授業料）
1年次	850,000 円	850,000 円
2年次	870,000 円	870,000 円
3年次	870,000 円	—

※上記学費に加え、入学金 80,000 円を手続き時に納入いただいております。

(2) 授業料には実習日・施設設備費・維持費等が含まれています。

(3) 授業料以外の費用について

上記の授業料のほかテキスト・各種検定費用・資格費用・実習服・実習活動関係費・視聴覚教材費・学内、学外活動費・傷害保険料その他は別途実費負担です。

(納入日は、新入生入学事前説明会時にお知らせします)

<修学支援について>

1) 日本学生支援機構奨学金制度

この奨学金は、貸与となり、返還義務のある奨学金制度です。

・貸付対象者：日常生活・成績共に優秀な学生で、経済的理由により就学に困難がある者

・奨学金の種類と貸付金額

第一種奨学金（無利子貸付）

自宅通学の場合：月額 30,000 円または 53,000 円

自宅外通学の場合：月額 30,000 円または 60,000 円

第二種奨学金（有利子貸付）

月額 30,000 円・50,000 円・80,000 円・100,000 円・120,000 円より選択可能。

利率上限・・・年利率 3%

※日本学生支援機構奨学金の予約採用済の方は、入学後に進学届の提出等を行うと正式に奨学生として採用となります。内容は、新年度オリエンテーションにて確認します。

2) 国の教育ローン

専門学校共生館国際福祉医療カレッジは、国の規定する専修学校（学校教育法第 82 号の 3）です。日本政策金融公庫の「国の教育ローン」および金融機関（地元の銀行および都市銀行）の教育ローンが利用できます。

8. 学校の財務

下記のアドレスにて（専門学校共生館国際福祉医療カレッジホームページ）情報公開

<http://www.kyoseikan.com/>

9. 学校評価

<自己評価・学校関係者評価>

下記のアドレスにて（専門学校共生館国際福祉医療カレッジホームページ）情報公開

<http://www.kyoseikan.com/>